

## 【エクアドル内政・外交：2011年5月】

### 1. 概要

- 5月 2日 ペルー領海境界線画定
- 9日 国会敷地内への非常事態宣言再々延長  
スリランカ民主社会主義共和国と外交関係樹立
- 13日 閣僚交替  
マルティネリ・パナマ大統領、当国訪問
- 20日 ガルシア・ペルー大統領、当国訪問
- 21日 軍による違法金掘削用機材の破壊
- 31日 外務省輸出投資促進所(Pro Ecuador)開設

### 2. 内政

#### (1) 国民投票

7日、国民投票が平穏理に実施された。同日午後8時頃より、コレア大統領は国家同盟(AP)事務所前で勝利宣言イベントを開催した。

#### (2) 9月30日騒擾事件：関係者の第一審判決

13日、ピチンチャ県地裁は5日間の公判審理を終え、②カリオン前警察病院長、③バアモンデ巡査、④パウカル巡査、⑤マルティネス巡査長に対し無罪判決を言い渡した。同月14日午後4時頃、カリオン前病院長及びバアモンデ巡査は198日間に及ぶ拘禁から釈放された。パウカル巡査及びマルティネス巡査長は手続きの関係上、同月16日に釈放された。

#### (3) 国会敷地内への非常事態宣言再々延長

9日、コレア大統領は大統領令第759号に署名し、国会敷地内の非常事態宣言を60日間再々延長した。

#### (4) 閣僚交替

13日、政府は、農牧水産漁業大臣にスタインレイ・ベガ氏、法務人権大臣にジョアナ・ペサントス氏、内務警察大臣にホセ・セラーノ氏(元法務人権大臣)を任命した。

#### (5) 外務省輸出投資促進所(Pro Ecuador)開設

31日、外務省輸出投資促進所(PRO ECUADOR)が開設された。同所は輸出促進、海外投資誘致、海外市場の調査等を行う。

#### (6) 軍による違法金掘削用機材の破壊

21日、政府はエスメラルダス県サンロレンソ郡、エロイ・アルファロ郡で違法に行われている金の掘削を止めさせるべく、総勢600名の軍を派遣し鉱山工が掘削のために使用していたショベルカー100台余りをダイナマイトで破壊し、関係者と衝突した。この措置により鉱山工3名が負傷した。

### **3. 外交**

#### **(1)コロンビア革命軍(FARC)関係**

10日、国際戦略研究所(IISS)は「FARCの文書:ベネズエラ・エクアドル・ラウル レジェスの秘密文書(El dossier de las FARC:los archivos secretos de Venezuela, Ecuador y Raul Reyes)」を発表した。右は、2008年3月1日のアンゴストウーラ越境爆撃の際、死亡したコロンビア革命軍(FARC)No.2のラウル レジェスのパソコンのハードディスク2個、及びUSBメモリー3個のデータを基に書かれている。報告書の中では、コリア現大統領(当時大統領候補)が2006年大統領選挙の際に、FARCに選挙資金の供与を求め、FARCは同年10月13日にコリア側近ブリト(Jorge Brito)氏に10万ドルを渡したほか、30万ドルをFARC南部第48戦線幹部に渡したと述べられている。また、FARC幹部は資金供与に関する話を電話で、パティニョ現外務大臣と行い、またコリア現大統領とも3回直接話をしたとされている。

同日、コリア大統領は本件に関し「FARCと接触したこともなければ、ラウル・レジェスも知らない。誰かがFARCに資金を求めたとすれば、FARCは詐欺に遭ったのだろう。我々は絶対にFARCから資金を受け取っていない。ラレア元内務警察大臣(Gustavo Larrea)に受け取っていたかどうか聞いて欲しい」と述べた。

#### **(2)対ペルー関係**

##### **(a)ペルー領海境界線画定**

2日、ペルー政府は国連に対し昨年3月コリア大統領が国連に提出した両国間の領海境界線に関する提案を承認した。コリア大統領が大統領府でこれを公表し、エクアドルにとって歴史的な日であるとし「ペルー、チリ間の領海境界線問題は当国にも関わることから注視していたが、今回のペルーの決定はシナリオの中で最も良いものである」と述べた。

##### **(b)ガルシア・ペルー大統領の訪問**

20日、当国を訪問したガルシア・ペルー大統領とコリア大統領は共同宣言に署名し、両国外相は4件の協定にも署名した。また、ガルシア大統領に勲章大頸飾章が授与された。さらにガルシア大統領はヤスニITプロジェクトにペルー政府として総額30万ドル拠出すると発表した。

#### **(3)対パナマ関係**

13日、コリア大統領は大統領府に於いて、エクアドルを訪問したマルティネリ(Ricardo Martinelli)パナマ大統領と会談を行い、二国間関係の強化を引続き行うとの姿勢を示す共同宣言発出に合意した。

#### **(4)対韓関係**

18日、チョン・インギョン(鄭寅均)当地韓国大使は、コリア大統領に信任状を捧呈した。

#### **(5)対スリランカ関係**

9日、エクアドル政府は、スリランカ民主社会主義共和国との外交関係を正式に樹立したことを公表した。